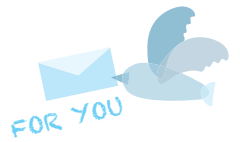




さか

あなたの忘れ物は何ですか？



No.10



それは、父への手土産。

ある年の正月、ひどい風邪をひき手土産を用意することなく帰省した。いつもは何も持ってくるなと言った父がポツンと「手ぶらで来たな」と母に言ったそうだ。楽しみにしていたようだ。それからしばらくして突然倒れ、父は帰らぬ人になった。最後の2日間を一緒に過ごす間、手に饅頭を握らせ、喋れぬ口にコーヒを垂らした。そして一方的にたくさん喋った。あの時手土産を持って行っていけば一緒に食べることができたのに、と悔やまれる。(しばり)

その一言が伝えられなかった、青春の日の忘れ物。齢喜寿も胸に残れど。(名華文)

「あの時はしんどかったなあ」とか言いながら友達と笑い合う今日この頃。当時は泣くほど辛くて悲しかったはずなのに、その時その時忘れてるんだよね。おかげで今は楽しい酒の肴。忘れ物にも助けてもらって、今の自分があるでしょう。(俺)

せっかちではないと思うが「ぼちぼち」が苦手。幼い頃に父から叱られる度にいつも掛けられていた言葉が「愚図ー」。(苦笑)「ちょっと急いでー」を気にしてたら「ぼちぼち」を人生のどこかに置き忘れてきてしまった。が、今度は孫から「早くしてよー」

と急がされるんだろうなあ。苦手を克服したわけではないのに…。(すみちゃん)

実家の母が亡くなった後、母の部屋を片付けた時、たかさんの未投函の手紙が残っていました。とくに亡くなった宛ての手紙、私宛ての手紙、叔母宛てのものなどでした。父宛ては無理ですが、他はそれぞれ届けましたよ。安心して下さい。(Gファン)

ダイエット、かなあ。もしも若いうちにダイエットに成功していたら、人生が変わっていたかもしれないと思う。が、しかし、中身が変わるわけではないのでこんなものかなあ。まあ見た目より「健康第一」と現実逃避が当たり前になった今日この頃では、すっかり忘れ物。(笑)(チャーミー)

### △ハモン博士のまとめ

忘れ物は人さまざま。でも「忘れ物」として認識していることが大切だとは思わんか？記憶していれば、思い出すことができるし、また挑戦してみることもできる。大人の忘れ物は面白い深い。子どもの頃の忘れ物は、叱られるばかりじゃが。



### 問合せ

おおくち男女共同参画懇話会(地域振興課)  
☎95-1691

# Be Ambitious

vol.264

町内にお住まいの  
20代の皆さんがリレーで登場!

## 留学を経験して

伊藤 真由子さん(下小口) H5・7・7生



### バレエ部の思い出

中学はバレエ部に所属。チームでプレーする楽しさを覚えました。また、最後まであきらめない根性が身に着いたように思います。

### 思い切って留学

英語が好きで小学校の時から英会話教室に通っていました。大学は交流文化学部在学。2年生のとき一念発起してオーストラリアへの交換留学に応募しました。留学期間は10か月で、多国籍の学生と現地の大学に入りました。

行ったばかりの時は英語が通じない事がコンプレックスで言葉が出てこなくなった時期もありました。一緒に遊びに行ける仲のよい友達ができ、乗り切ることができました。

留学中は仲間とパーティーでお互いの国の料理をふるまったり、公園でおしゃべりしたり。フィンランドの学生ツアーに参加してアジアの学生と同じロッジに泊まり、夜、雪の斜面をみんなでそりすべりしたのが一番の思い出です。

日本を外から見ると、日本とは、日本人は相手を気遣う思いやりがあること。逆に気になったのは、電車の中ではほぼ全員がスマホをいじっていること。日本独特の風景だと思えました。

滞欧中にテロや難民のニュースに接し、帰国してからも世界の出来事が身近に感じられるようになりました。少しでも人のためになりたいと、英語を生かしたボランティア活動をしています。



▲留学の思い出 学校の仲間と年越しパーティー